



ニコニコハウスだより Vol.2

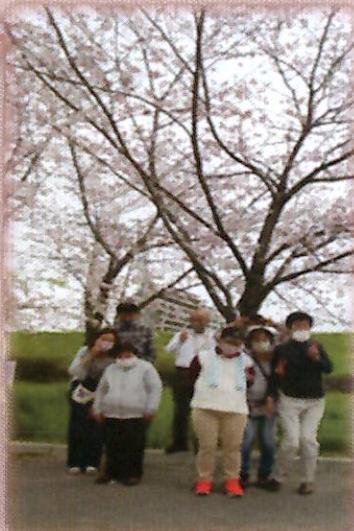
2024年冬号



あけまして おめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。昨年はコロナも少し落ち着き、鶴里では「部署活動」、デイサービスでは「ボランティアさんの受け入れ」や「買い物やドライブなどの外出」、ホームでは「日帰り旅行」などが再開し、少しずつ元の生活に戻りつつある年でした。今年もコロナ対策など行いながら、さらに日常を楽しむことができる年になるよう活動していきたいと思います！



デイサービス運動会



ニコ鶴お花見

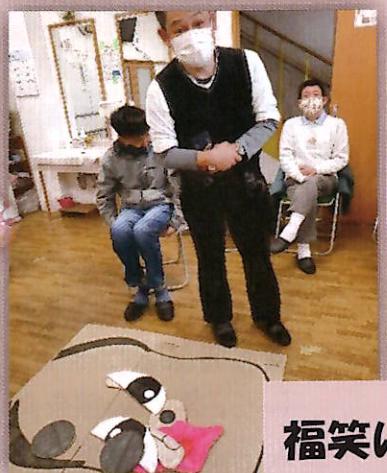


ホーム旅行



豆まき

したよげ“が”なたの
ごのうと“と”いのじく
阪野もくくよくろく



福笑い



ニコニコ
ハウス

しほり祭り

昨年一年
たくさんの行事がありました
今年も頑張りましょう！



ニコニコこども広場

新年のご挨拶

社会福祉法人ニコニコハウス
理事長 阿隅貴臣

令和6年は、元日から緊張感漂う幕開けとなりました。能登半島地震で被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

昨年、ウクライナの人道危機が解決の糸口を見出せないうちに、今度はパレスチナガザ地区を中心とした新たな危機が勃発しました。報復が報復を呼び、関係諸国を巻き込んで、混迷は深まるばかりです。一刻も早く人道危機が回避されることを祈ります。

また、戦禍は当事国のみならず、世界中の国に分断をもたらし、また経済の混乱として立ち現れています。私たちは、得も言わぬ閉塞感、何が起きるか分からない不安を心の奥底に押し込んで現代を生きている、そんな感覚が一段と強くなっています。

コロナが5類感染症に引き下げられてからは、コロナ禍以前のような日常を取り戻しつつあります。ニコニコハウスも、これまで自粛していた夏祭りや秋祭りといった地域行事を再開させて、多くの方々と楽しい時間を過ごすことができました。人が集まり、賑わいができることが、そこにいる人を元気にするということを改めて感じることができました。今年も面白い企画をして、地域の方とともに、みんなで楽しい時間を過ごしたいと思います。

日本の社会保障、福祉制度をとりまく環境は依然として厳しいと言わざるを得ません。人口減少の局面であらゆる業界が人手不足ですが、特に福祉現場の仕事は機械による代替が困難であり、問題は深刻です。これから時代、職場に集う人も多様化していくでしょう。今や福祉を学問として学んでから就職する人は少数派です。皆現場で学び、成長していきます。現在福祉現場で働いている人、またこれから目指そうとしている人が、仕事の意義を感じ、この仕事を通じて自己実現できるような職場環境を目指したいと思います。

昨年暮れには、愛知県内を中心に多くの障害者グループホームの運営を手掛ける法人が利用者から徴収した食材費を不正に流用している等といった事案がメディアで取り沙汰され、現在も行政による調査が進められています。競争原理の市場に福祉が組み込まれた以上、今後も利己的な福祉ビジネスを根絶することは難しいと思います。私たちは、社会福祉法人として、常に公益を見据え、地域ニーズをくみ取りながら、安定的にサービスを提供し続けられるように運営していく所存です。

社会の厳しい現状を踏まえつつも、私たちは希望ある未来を築くために、地域福祉の向上に向けて一歩一歩前進してまいります。今後も変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ニコニコかたろうあきまつり



新型コロナウイルスの影響もあり、実施できずにいた「あきまつり」を11月23日（祝）に4年ぶりに開催しました。今回のあきまつりは「ニコニコハウス」と「かたひらかたろう」さんの共催で実施しました。4年ぶりのあきまつりを地域の方と皆で盛り上げたいという思いを込め、スローガンを「ニコニコつながる地域の笑（わ）」にしました。

同じ片平学区にある店舗さんにも声をかけさせていただき「ゆいまーる」さんにはサーティアンダギーの販売・「鞠奴パン食堂」さんにはパンの販売でご参加頂きました。また元理事長の石川さんにもご協力頂き畠の仲間の皆さんと「にこファーム」として新鮮野菜や焼き芋を販売して頂きました。また「かたひらかたろう」さんは輪投げ・フランクフルト、ニコニコハウスとしてはラスク・しづく製品・ストラックアウト・射的を出店しました。

当日は、まつり開始前からたくさんの子供さんや地域の方がニコニコハウスの前に集まって下さっていました。

店舗で参加いただいた皆さんやまつりに来て下さった地域の皆さんが、楽しそうに会話をする姿や子供たちがゲームで盛り上がっている姿などを通して、たくさんの笑顔を見ることができました。それがまつりの企画等を担当した地域交流委員としては何よりも嬉しかったです。

スローガンにしていた「ニコニコつながる地域の笑（わ）」！！が少しは実現できたのではないかと思います。今回のまつりをきっかけにより地域の皆さんが「ニコニコつながる」まつりを目指していくければと思っております。



ふくしネットワークの発表を終えて

ニコニコデイサービス鶴里：平野勇太

11月17日(金)にニコニコハウスが加盟している愛知・名古屋ふくしネットワークが開催する研修会に参加しました。

内容は各法人が「サービス向上の取組」を発表して参加者が互いに研鑽を深めるというものです。ニコニコハウスからはニコニコデイサービス鶴里の事業紹介を行いました。私自身はデイサービスへ異動してきて2年目とまだまだ半人前なのですが、今回の発表の準備を行う中で改めてデイサービスの「歴史」を知る事が出来ました。発表のテーマは「種別にこだわらないサービス提供の効果」です。

ニコニコデイサービスの最大の特徴は、「高齢利用者と障害利用者が共生している」ことです。障害の方がおよそ半数以上を占めるデイサービス、他では中々見られないことだと思います。

開業当初のニコニコデイサービスは、ご高齢の利用者のみの一般的なデイサービスでした。障害の方を受け入れるようになったのは、約20年前のことです、ふらっと立ち寄られたご近所の地域住民の方Aさんとの出会いがきっかけでした。当時は障害者手帳もお持ちでなかった方です。この方を正式に利用者として受け入れるために手帳取得のお手伝いをして、名古屋市から事業受託を受けました。そしてその約2年後、同じく障害のある二人目のBさんがデイサービスに通われる事となりました。

AさんもBさんもとても個性的な方です。今まで障害の方と関わる機会がないデイサービス職員にとっては、初めての事が多く衝撃も大きかったようです。

AさんBさんと関わっていく中で自然と障害のある方とのコミュニケーションの取り方を学ぶことができました。その経験が活かされて、障害の方の受け入れに抵抗のない、今日のニコニコデイサービスへと発展しました。

障害の方を受け入れるようになってから、ご高齢の利用者さんへの効果が見られました。ご

高齢の利用者さんは、「人生の途中で介護が必要になった方」です。多くの方が自身の体の状況を受け入れるのに時間が要すると思います。第三者による介護を受け入れるのに抵抗があると思います。そこに、生まれながらに手助けが必要な障害のある方と一緒に過ごすことで、ご高齢の方が自身の状況を受容する手助けになっている気もします。

今ではご高齢の方と障害のある方が当たり前に一緒に過ごされているデイサービス。ニコニコハウスの理念でもある「障害を持つ人も持たない人も、互いの人格を尊重しつつ、共に働き、助け合って、それぞれの力を十分に活かしていく場」になっているのではないでしょうか。

今回の発表では、他にもせんたく班の方の事例や、事業内容についても触れました。会場の皆さんにニコニコデイサービスの魅力を伝える、という点では内容を詰め込み過ぎてしまい、十分に伝えきれなかつたと思います。次に発

表の機会があれば、今度はもっとポイントを絞り、ニコニコの強みをアピールしたいと思います。



令和5年度ニコニコハウス法人研修報告

今

年度の法人研修では、6月21日に「サービス提供責任者・サービス提供責任者・相談員向け」と、10月18日に「支援員向け」の2回に分けて行いました。

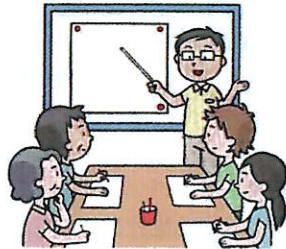
6月21日のサービス管理責任者・サービス提供責任者・相談員向けの研修では、「所員さん(利用者さん)のことをよく知る」ために、氷山モデルとストラテジーシートの作成を通して事例検討を行いました。氷山モデルを使用することで対象者の特性や環境因子が理解できるようになり、なぜその課題が出るのかを考えることが出来ました。またストラテジーシートの作成では、課題となる行動、きっかけ、事後の行動を考えて、どのように支援したらいいのかを考えることが出来ました。そして今回、事業所の垣根を越えて多種職で事例検討をすることで、様々な意見や質問が出て、その対象者のことがより深く理解できただけでなく、自分にない認識に触れることができ、とても勉強となる会となりました。



10月18日の支援員向けの研修では、愛護手帳や障害者支援区分などの基礎知識を改めて学ぶ機会として、「障害者福祉のしおり」などを用いて勉強しました。初任者に必要な基礎知識から、ベテラン支援員から出た質疑応

答に答えるなど幅広い知識を学ぶ機会となりました。また所員さんの高齢化に伴い必要な知識として、事前にアンケートをとり要望の多かったものを中心として、窒息した場合の対処方法、介護職員ができる医療行為の確認、高齢化に伴い注意する点、車椅子の取り扱い・車椅子車両の基礎知識を学び、実際に取り扱いを体験しました。窒息した場合の対処方法での誤嚥を見極める症状の確認や車椅子の取り扱いなどは、直ぐに現場で生かせる学びとなつたのではと思います。

両日とも1時間半の研修でしたが、研修時間内では理解しきれなかった事柄があつたり、まだ質問したいことがあったとの意見も出ており、今年度学んだ内容をさらに深める必要も感じました。またどちらの研修ともニコニコハウスで働く全ての職員が知ると良い内容であり、各事業所でも今回得た知識を広げていければと思います。また今回の研修を踏まえ、今後は高齢者福祉についてや介護技術、介護保険法や報酬改定、AEDの使用方法など、他にも様々な研修希望が出ており、職員それぞれが働いている事業所の特色やキャリアを生かした研修内容を考えていけばいいなと思います。ニコニコデイサービス鶴里 鈴村



ニコニコこども広場について

2023/10/15(日)に開催しました「ニコニコこども広場」について、質問形式で紹介させていただきます。

1

ニコニコこども広場を開催する目的は何ですか？
今回で何回目になりますか？

ニコニコハウスでは、3年前コロナ禍の中、恒例行事である「ニコニコ夏まつり」の開催を断念した際、地域でも子どもたちの楽しめるイベントが全くない中、何かできることはないかと考えました。そのような中、トレーラーハウス「笑笑屋(にこにこや)」の販売だけは行われていました。「笑笑屋」の拡大版として、ゲームなどの子どもが楽しめる企画から生まれたのが「ニコニコこども広場」です。それ以後毎年継続的に開催し、おかげさまで今年で3回目を迎えることができました。

2

地域サロン「つるの里」(以後「つるの里」と記載)と同時開催でしたが、如何でしたか？

今年も昨年同様、地域サロン「つるの里」と同時開催でした。「つるの里」は鶴里3町内会様の主催で、毎月第3日曜日の9:30~11:30、ニコニコデイサービス鶴里のフロアで行われています。軽食が準備され、地域の方々の交流の場となっています。

「つるの里」に参加された子どもが「ニコニコこども広場」に参加されたり、「ニコニコこども広場」に遊びに来た子どもが、「つるの里」に参加されたりと、企画間で行き来がみられました。

今回、どのようなブースがありましたか？
当日の様子も教えてください。

ラスク販売(ニコニコハウス鶴里の製品)、ゼリーすくい、お面づくり、子ども自身が販売する子どもプチバザーを行いました。ゼリーすくいを何度も行ったり、好みのキャラクターのお面づくりを楽しんだり、100円という破格の値段のフリーマーケットでお気に入りの商品をみつけたりと、子どもたちは楽しんでいました。プチバザーに出店した子どもも、自分が出品したものが売れて喜んでいました。ラスクは「つるの里」に来場された大人の方々にも好評で、たくさんご購入していただきました。

4

今後の予定、アピールなどありましたら、お願いします。

これからも地域の方々の交流する機会として、またニコニコハウスで行っている活動を発信できる機会として取り組んでいこうと思います。トレーラーハウスを利用して作品展やワークショップを行ったり、「つるの里」でパン販売するなど、取り組みを広げていけたらと思います。ご参加いただいた皆様、「つるの里」の皆様、地域の方々、ご協力ありがとうございました。



お面づくり

ゼリーすくい

「ニコニコこども広場」の様子

「つるの里」の様子

ホーム運動会開催しました！

去る 10/28(土)、はじめて全ホーム参加しての「ホーム運動会」を行いました。

片平ふれあいセンターのホールをお借りし、広々とした場所で身体を動かしました。

玉入れや借り物競争、ジェンガやボール遊び競争など、皆さんとても楽しそうに参加されました。

そして、職員の団結力も凄かった！無事に楽しく終えられた事に感謝です。

正々堂々戦うことを誓います



右♪左♪前♪後ろ♪



後半、赤組追い上げるも白組の勝利だあ

編集後記

編集委員自分ニュース 2023

コロナは落ち着いてきましたが、インフルエンザが猛威を振るい、戦争や物価高騰など暗いニュースが続いている。

皆さんにとって 2023 年はどんな年だったでしょうか。編集委員はそれぞれに楽しみを見つけた一年だったかと思います。ささやかながら、紹介のページとさせて頂きます。杉山

『昨年は過去最高の一年でした』

そして今年も過去最高を更新する一年となると思います。

そのような心構えで今年も一日一日を最高の一日にしていきたいと思います。吉安

『十数年ぶりに、宝くじ(サマージャンボ)を購入しました』

「〇〇万円は老後資金、〇〇万円は実家にあげて、〇〇万円は子供たちへ。

残ったお金で何しよう？？キャンピングカーを買おうか。アパートを建てて経営しちゃおうか。」などなど、今まで思いつかなかつたことまで閃いてきて妄想が広がり、当選日まで本当に楽しかったです。

結果、3,300 円の当選でした。欲深な私には、このくらいで良かったのかもしれないですね～。佐藤

『私にとって、「4949」の年でした』 昭和49年生まれの49歳でした。

子供に49(よく)笑われ、妻に49(よく)叱られ、49(欲)のない1年でした。

もうすぐ50の扉を開きます。今井

『今年は遅ればせながら、コストコデビューしました』

玉ねぎの大袋を買ったことから、玉ねぎ染めにチャレンジ！！

なかなか素敵にできました。次は何で染めようかな。服部

『香川聖地巡礼』 コロナの猛攻が過ぎ去り、好きな作品の聖地に久しぶりに行けました。

昔に比べて変化はあれど、灯台と海は変わらず美しく、うどんが美味しい！！鈴木

『上原ひろみソニックワンドーランド』

十数年振りに見たコンサート、超早弾きのピアノが圧巻でした！！

話は変わりますが、イスラエルのガザ侵攻が一日も早く終わりますように、一日も早く平和が訪れますように。杉山

発行：社会福祉法人ニコニコハウス

〒457-0021

名古屋市南区鶴里町3丁目40番地1

TEL 052-825-0711

FAX 052-819-1577



ホームページ QR コード
<http://www.nikoniko-house.jp>